



# ライス通信

NPO法人リヴォルヴ 学校教育研究所

第6号  
2007年 5月発行



二の宮事務所  
〒305-0051 つくば市二の宮4-8-3 1-404  
電話/FAX 029(856)8143

ライス学園 谷田部教室  
〒305-0861 つくば市谷田部2983 (アラキヤさん2階)  
電話/FAX 029(836)8447  
ホームページ <http://www.rise.gr.jp>

## ライス学園スタッフ紹介



筑波山への遠足にて

「ライス学園」は、既存の学校にうまく適応できずにいる子ども達のための小さな学校です。昨年度は、年間で延べ1,668人の子ども達が登園し、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」の協力を得て、ヨーロッパを自転車で縦断中の関口さん一家にテレビ電話でインタビューをしたり、地域の方々にお招きいただいてそば打ち体験をしたりとさまざまな活動を行いました。

また「ライス学園」では、元公立学校の教師や大学生など、豊富な経験をもつベテランスタッフと活気にあふれる若手スタッフが、算数や国語、英語などの学習もサポートしています。今回はそんなライス学園で活動しているスタッフを紹介します。

<b>本名(ふりがな)</b> ①ライス学園での呼び名または呼んでほしい名前 ②担当教科 ③資格・職業その他 ④好きなことば		<b>小野村 哲(おのむらさとし): 法人代表</b> ①オノム ②英語(小・中・高) ③元公立中学校英語科教諭 ④我唯足知	
<b>盛 弓子(もりゆみこ)</b> ①もーりー ②国語(小) ③臨床心理士資格 スクールカウンセラー ④正義に必要なのは、職業や肩書きではなく、準備だ!		<b>北村 直子(きたむらなおこ)</b> ①ラッコ ②国語(中・高) ③元公立中学校国語科講師 ④努力・・・それは無限の可能性	
<b>龍井 昇治(たつしろうじ)</b> ①たっちゃん ②数学(中・高) ③私学一筋、38年勤務終了 ④桃季言わざれども下自(おのずか)ら蹊(みち)を成す		<b>松井 由佳(まついゆか)</b> ①マツドン ②社会(小・中・高) ③中学校社会科教員免許 ④起きて半畳、寝て一畳、天下獲つても二合半	
<b>松本 泰子(まつもとやすこ)</b> ①マツモツちゃん ②算数(小) ③中学・高校数学科教員免許 ④なんでも食べて、どこでも寝る		<b>本山 裕子(もとやまゆうこ)</b> ①もっぴー ②家庭科(小)、数学(中) ③元公立中学校数学科教諭 ④スロウライフ	
<b>草間 光(くさまひかる)</b> ①ヒカル先生 ②理科(小・中・高) ③東京理科大学在籍中 ④臨機応変		<b>長岡 昌(ながおかまさし)</b> ①ちょうさん ②社会(高)他 ③筑波大学人間学類卒業、児童相談所・発達支援センターでの勤務経験有、日本福祉教育専門学校通信課在学中 ④百戦錬磨	
<b>鈴木 桂子(すずきけいこ)</b> ①ケイコ先生 ②保護者会 ③心理カウンセラー 中学校体育科教員免許 ④ありがとう		<b>平石 哲(ひらいしさとし)</b> ①ヒラプー ②絵画造形 ③デザイナー ④無意識の中の偶然の真実	

## 学力低下を考える

学力低下論争がかまびすしい。平成19年1月、教育再生会議は学力向上対策として「授業時数の10%増加」「基礎・基本の反復・徹底」などを提言した。しかし、何をもちて学力と考えるのか。その定義は時代やその社会によって異なる。ある社会で重要とされた学力が、別の社会では必要とされないこともある。知識量など狭い意味での学力に重視されることもあれば、「生きる力」と表現されるような広い意味での学力に重きが置かれることもある。今、子ども達に必要とされるのは、どのような力なのか。ここを見ずしての論争は無意味である。

学力低下の原因は、ゆとり教育にあるのか。総合的な学習が失敗だとするならば、その原因はどこにあったのか。昨今の論議は、現場の感覚とは少しずれているのではないかと感じるのである。

以下は新見南吉の「ごんぎつね」から出題された小学4年生のテスト問題である。

5. 「ばたりとたおれた」ごんを見たときの兵十の気持ちにあうもの1つに、○を書きましょう。

- ( ) くりを持っていたようだがなぜだろう。
- ( ) いたずらぎつねをやっつけたぞ。
- ( ) おどかさだけのつもりだったのに、しまった。

正解は「やっつけたぞ」だそうだが、なぜ「しまった」ではいけないのだろうか。ごんを撃った兵十は、確かに「やった」と思ったかもしれない。だが同時に、「しまった」という気持ちがなかったと誰が言い切れるだろう。ここではせめて「兵十がどのように感じる(裏面に続く)」

## ライスのあしあと

### 2005年 7月

・茨城県県道館アカデミー連携講座「中学英語授業研究会(全4回)」を開講

### 2005年 8月

・ライス学園「オープンスクール」を実施  
・「いばらきマナビィ・ネット教育賞」応募開始

### 2005年 9月

・稲刈り体験を実施【協力: NPO法人自然生クラブ】  
・「サービス・ラーニングを推進する米国NPOメンバーを囲んでの交流会」を開催(いばらきマナビィ・ネット、NPO法人世界の子どもネット共催)  
・「学校に行っていないみんなのためのいばらきマナビィ・ネットカルチャー教室」を開講  
・日本LD学会第14回大会にて発表「書字が苦手な児童へのひらがな指導～効果的な指導の一例として～」

### 2005年 11月

・焼き芋大会を実施【協力: NPO法人自然生クラブ】

### 2005年 1月

・NHK茨城地域デジタル放送で2回にわたり、ライス学園、およびカルチャー教室の様子が取り上げられる

### 2006年 3月

・筑波山への遠足を実施  
・「ABC英語れんしゅうちょう」「改訂版ひらがなれんしゅうちょう」を出版

・教育公開講座「よめる!かける!ひらがな・カタカナ・アルファベット読み書き指導の工夫」を開催

### 2006年 5月

・特別授業「世界の子ども達とワクチンについて」(第1回)をライス学園にて実施

【協力 NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会】

・田植え体験を実施【協力 NPO法人自然生クラブ】

### 2006年 6月

・第5回総会を開催  
・「いばらきマナビィ・ネット教育賞」受賞者表彰

### 2006年 7月

・いばらきマナビィ・ネット事業として、学校等への社会人講師派遣事業を開始

・2006年度「学校に行っていないみんなのためのカルチャー教室」開講

### 2006年 8月

・特別授業「世界の子ども達とワクチンについて」(第2回)をライス学園にて実施

【協力 NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会・vodafone株式会社(当時)】

・ライス学園「オープンスクール」を2日に分けて実施

### 2006年 10月

・日本LD学会第15回大会にて発表「読解に困難を示す児童・生徒への理解と支援～通常学級における英語指導を中心に～」

・全国生涯学習フェスティバルに参加

・「ひらがなえほん1」を出版

・よみうりタウンねっと「情報すくらんぶる」で「ひらがなえほん出版」が紹介される。

### 2006年 11月

・豊里ゆかりの森にて保護者参加の焼き芋・バーベキュー大会を実施

・常陽新聞に「ことば学習教材と絵本出版」の記事が掲載される。

・「本を選ぶ」No.258に「ひらがなえほん1」の紹介記事が掲載される。

### 2006年 12月

・「つくば100本のクリスマスツリー」に参加。ツリー名「さよなら冥王星」

・茨城県立自然博物館への遠足を実施

・朝日新聞茨城版に「学習帳販売益で講師派遣手助け」が掲載される。

### 2007年 1月

・朝日新聞茨城版「地域で育む子の才能」の記事中でライス学園が紹介される。

・朝日新聞茨城版に、いばらきマナビィ・ネットがコーディネートした社会人講師派遣授業の記事が紹介される。

### 2007年 3月

・そば打ち体験を実施

【協力 内藤寿司他千歳通りの地域の方々】

### 2007年 3月

・筑波山への遠足を実施



(表面から続く)

たと思うか。一つ選び、その理由を書きなさい」のようにすべきではないか。ただ正解を覚えこむような学習にどのような意味があるだろうか。

詰込み式学習を強いられた子ども達は、柔軟な発想を失いがちである。「Penguins are birds but they cannot fly.」のような英文を読むときにも文頭の penguin だけを見て「習っていません」「わからない」としてしまふ。しかし bird や cannot fly などを見れば、「飛べない『ペン〇〇』という鳥」という情報から、それがペンギンであると推測が可能はずである。旧来の英語学習では、単語や文法などの習得に力が注がれて、文脈や背景などからその内容を類推するという力の育成が軽視されがちだった。基礎・基本を教え込むことは必要不可欠である。しかしその基本とは単に単語を知っているということだけではない。言語学習の目的が、広い意味でのコミュニケーション能力の伸長にあるならば、たとえ未習語であってもこれを類推する力も基礎として育みたいところである。

うまく自分の気持ちを相手に伝えられない、相手の気持ちを理解できないという若者が増えている。しかもそれは若い世代だけに限ったことではない。さまざまな悲しい出来事背景には、ひとつに日本人のコミュニケー

ション能力低下があるのではないだろうか。

私の祖父母の世代には、学校に行きたくても行けなかったという人が多かった。しかし今、この国に暮らす多くの人々は、学校教育の恩恵に浴した人々だ。学校教育が日本人のコミュニケーション能力を低下させていると言ったら、それは言い過ぎだろうか。言われたことしかできない指示待ち人間が増えたというのも、その原因の一つを学校教育に求めることはできないだろうか。

スキーがうまくなりたいと思うのなら、実際に滑ってみることである。基礎や理論も必要だが、それを聞くだけでは滑れるようにならない。多少でも滑れるようになりスキーを楽しみと感じたとき、学ぶことへの意欲が引き出されより効率的な上達を可能にする。

授業時間を増やせば、基礎学力が向上するなど考えるのは、安直に過ぎる。問題は子ども達の意欲の低下である。ではなぜ子ども達は意欲を失いつつあるのか。それは彼らが自身の将来に希望を抱けなくなっているからである。

不祥事が後を絶たない。「今どきの子ども達は」という前に、まずは大人が背中を見せるにふさわしい存在になれるよう努めたいものである。

(文 小野村 哲)



### NHKで「ひらがなれんしゅうちょう」が取り上げられました!

2007年3月、NHK「おはよう日本」と「いばらきわいわいスタジオ」で、「ひらがなれんしゅうちょう」が取り上げられました。

リヴォルヴ学校教育研究所で開発した教材は、現在、把握しているだけでも全国の200以上の国公私立幼小中学校で利用されています。

放送では、なかなかひらがなを覚えられなかった女の子がこの教材を使ったことで読み書きができるようになったと、お母さんの喜びの声がレポートされました。

その他にも「こんな指導方法があったのか」などの感想が寄せられています。

これらの教材はいずれも、Amazon.co.jpで購入いただけます。



## ライス学園日記から～カルチャー教室の様子～

リヴォルヴ学校教育研究所では、他団体の皆さんとともに「いばらきマナビィ・ネット」を立ち上げ、子ども達の学びをより豊かなものとするための活動に取り組んでいます。2005年度からは、不登校児童生徒を対象としたカルチャー教室を開講。ライス学園の子ども達はより多くの人々とのふれあいの中で成長しています。

### お琴教室 全4回 講師：安田有希氏



全4回の教室で「世界にひとつだけの花」が演奏できるようになりました。先生に教えてもらうだけでなく仲間どうしでも教え合ったり助け合ったりとライズのみんなの成長が見られました

### アート教室 全1回

～小麦粉でヒマラヤをつくらう～

講師：教室ギャラリー実行委員会 山田幸則氏



まずは糸のこで、ダンボールを好きな形・大きさに切って土台を作ります。その上に小麦粉をふるっていきくと、白く美しい山が出来上がります。最後には、みんなの山を合わせて、巨大な「ヒマラヤ山脈」ならぬ『ライズ山脈』を完成させることができました!!

### おもしろ実験教室 全2回 講師：北沢善一



1回目は磁石、2回目は静電気の実験でした。どんなに重いものも引っ張りあげる超強力な磁石を見せてもらったり、風船を使って人に静電気を流してみたりと、とても楽しい教室でした。

### ダンス教室 全3回 講師：アーツ・ダンス・アカデミー 緑葉子氏



ヨガやバレエ、空手のポーズを取り入れたストレッチなど、今までにないダンス教室でした。最後にはポップ系のダンスを1曲通しておどれるようになりました。

## 正会員・賛助会員募集

リヴォルヴ学校教育研究所の活動は、多くの方々の善意によって支えられています。私達は今後も一層の研鑽に励み、活動を充実させてまいります。

皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

〇年会費  
正会員 個人 5,000円 団体 10,000円

学生 2,500円  
賛助会員 個人1口 3,000円 団体1口 5,000円

〇会費の振り込み先  
郵便局 記号106000 35657951  
特定非営利活動法人リヴォルヴ学校教育研究所  
常陽銀行研究学園都市支店  
店番104 普通1822778  
特定非営利活動法人リヴォルヴ学校教育研究所

## いばらきマナビィ・ネット 学校へのゲスト・ティーチャー派遣事業



いばらきマナビィ・ネットでは、2003・2004年文部科学省委嘱「NPO等と学校教育との連携の在り方についての実践研究事業」に参加し、公立小中学校等への社会人講師(ゲストティーチャー)のコーディネート等に取り組んでまいりました。

2006年度は「ひらがなれんしゅうちょう」や「英語れんしゅうちょう」等の販売収益を生かし、県内小中学校にゲスト・ティーチャーを派遣しました。社会人講師の訪問に際しては単に学校と講師をお繋ぎするだけでなく、授業計画立案からお手伝いをし、招へいに要する費用も最大で80%までをいばらきマナビィ・ネットで負担しました。各校からは大変好評をいただき、新聞各紙にも取り上げられました。

※申し込み・訪問の様子は、<http://www.manabee-net.org>でご覧いただけます。

日付	授業名	学校名	訪問講師
1	「お箏に触れてみよう」 (箏指導およびミニコンサート)	龍ヶ崎市立長山中学校	箏奏者 中川 果林氏
2	「郷土の伝統工芸に触れよう:結城紬」 (実際に3工程:糸取り・糸あげ・機織りを体験する)		茨城県工業技術センター 繊維工業指導所
3	「芸術館タワーを作ろう」 (一枚展開図から芸術館塔貯金箱を作成する)		財団法人 水戸市芸術振興財団
4	「世界のこと みんなで考えよう」 (日本とフィリピンの文化の違いや生活を知る)	北茨城市立関本第一小学校	特定非営利活動法人 CFF
5	「郷土の伝統工芸に触れよう:結城紬」	常陸大宮市立山方南小学校	茨城県工業技術センター 繊維工業指導所
6	「思い通りに動かな?ダンスにチャレンジしてみよう!」 (音楽に合わせたストレッチ・ダンス)	日立市立中里中学校	特定非営利活動法人 アーツ・ダンス・アカデミー
7	「芸術館タワーを作ろう」		財団法人 水戸市芸術振興財団
8	「思い通りに動かな?ダンスにチャレンジしてみよう!」	石岡市立葦穂小学校	特定非営利活動法人 アーツ・ダンス・アカデミー
9	立志式行事 安直樹 講演会 (車椅子バスケットの体験と講演)	那珂市立瓜連中学校	車椅子バスケット 日本代表選手 安直樹氏 (千葉ホークス所属)
10	「郷土の伝統工芸に触れよう:結城紬」	取手市立戸頭西小学校	茨城県工業技術センター 繊維工業指導所
11	「お箏に触れてみよう」	日立市立中里中学校	箏奏者 安田 有希氏

## スタッフのつぼやき



ライズ学園スタッフ 松井 由佳

ライズの扉をノックしてから早4年目、常勤職員として勤務するようになってから3年目の春を迎えました。大学時代に思い描いた理想と現実のギャップの中で自身の無力さや弱さを日々痛感し、自分には何かと模索する毎日です。

「自分の頭で考える」「焦らずゆっくりでいい」「失敗を恐れない」。小野村先生はじめ、他のスタッフの皆さんや子ども達からいつも学んでいることです。それにしてもあまり考えず焦って行動して失敗の多い私ですが、とにかく「続けること」を目標にがんばっています。これからもよろしくお祈りします。

## 編集後記

ライズを離れて早4年、下の子ども1歳半になり、大分手もかからなくなってきたので、今回会報の編集をさせていただく事になりました!子ども達を保育園の一時保育に預けて仕事が良いリフレッシュになっています。

今3歳の長男がお気に入りの絵本は「ひらがなえほん1」です!壁に貼ったひらがな表をゆび差しながら「あいうえおおきなくまさんが」と楽しんでいました。(文 荻野 紀子)